

第22回ソウル大学校-北海道大学ジョイントシンポジウムを開催



参加者集合写真

11月14日(木)、15日(金)に、韓国ソウル大学校(Seoul National University, SNU)と本学のジョイントシンポジウムを開催しました。両大学の合同シンポジウムは、平成10年より毎年交互にホスト校となる形で開催されており、第22回となった本シンポジウムは、『人工知能(AI)時代における、大学の挑戦と機会』というテーマの下、SNU冠岳キャンパスで行われました。

今回の参加が初めてとなるSNUオ・セジョン学長の開会挨拶に続き、本学笠原正典総長職務代理の挨拶、SNUク・ミンギョ国際部署の長による各参加分科会の紹介を以て、全体会が開会しました。基調講演として、SNUビッグデータ研究所創設者である電気・情報工学部チャ・ソンギョン教授からは、ビッグデータ、コンピューティング、AI・アルゴリズムの流れが説明され、次いでデータサイエンス大学院を開設し、生物、環境科学、物理学、社会科学等情報科学以外の学部生を集めて共同教育を行い、データサイエンスの恩恵を広く行き渡らせるというSNUの新イニシアティブが紹介されました。続いて、本学情報科学研究院の川村秀憲教授からは、グルメレビューサイト、ファッション通販サイトへのAI応用、競輪の結果予想、漁網やロードヒーティング設置路面での積雪感知での経費節約に資す

る等、様々な分野での実用例が示されました。

今年度は7部局から8分科会が催され、同時期に開催が可能であった分科会から約100名が全体会に参加しました。第23回は令和2年に本学で開催する予定です。

プログラムはホームページの「国際的な学術交流」のページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

◆<https://www.hokudai.ac.jp/international3/internationalization/academicexchanges/jointsymposium/>

(国際部国際連携課)



SNUオ学長と北大笠原総長職務代理



全体会の様子



SNU音楽大学学生による、伝統音楽演奏



SNUチャ教授



本学川村教授